

於 二宮町教育委員会事務局

平成26年6月27日

## 二宮町教育委員会会議録

(定例会・臨時会)

二宮町教育委員会

1. 開会時間 10時 00分
2. 閉会時間 12時 00分
3. 委員長名 小林 徳博
4. 署名委員
5. 出席委員

議席番号	出欠席	氏名
1	○	小林 徳博
2	○	蓮 實 茂 夫
3	○	飯 塚 富 美
4	○	山 内 み どり
5	○	内 海 博 治

6. 出席者氏名  
 教育次長 宮川康廣  
 教育総務課長 黒石徳子  
 生涯学習課長 鐘ヶ江学  
 教育総務課指導班長 下澤純二  
 教育総務課指導班主幹 伊庭しげみ  
 教育総務課指導班主幹 新井久美  
 教育総務課教育総務班長 竹本直昭  
 教育総務課教育総務班主任主事 関田智恵子
7. 傍聴者 2名
8. 調製者 教育総務課教育総務班主任主事 関田智恵子

## 平成26年度6月教育委員会定例会会議録

日時：平成26年6月27日（金）

午前10時00分より

場所：二宮町町民センター2Aクラブ室

### — 開会宣言 —

（委員長）平成26年度6月定例教育委員会議を開催します。

### — 署名委員の指名 —

蓮實委員を指名する。

### — 教育長事務報告 —

（教育長）6月事務報告を行う。

（教育次長）6月政策会議報告及び平成26年第2回6月議会定例会報告を行う。

（各課長）各課の事業報告・事業予定について説明する。

- （蓮實委員）6月23日の給食センター運営委員会に委員として出席しました。会議では、給食の献立に魚を使用したメニューが少ないのではないかとのご意見に対し、調理等の関係もあるが今後検討するとの回答がありました。また、食中毒の発生しやすい時期ですので検査等はしっかり行われているのか質問したところ、食中毒の時期に限らず日頃からきちんと対策しているとのことでした。
- （委員長）魚を使用したメニューが少ないのではないかとのご意見についてですが、実際の状況を教えてください。
- （教育総務課教育総務班長）食肉類の方が調理しやすい等の理由もあり、鮮魚類は食肉類と比べて少ないというのが現状ですが、かまぼこ・ちくわ等の加工品を含めると魚を使用したメニューも少なくはないという状況です。今回貴重なご意見をいただきましたので、栄養士を含め引き続き検討してまいります。
- （委員長）ふたみ記念館で幼児美術展を開催するとのことで、発展的な方向に向かっていると感じました。今後、小中学生等が作品を出品出来るような場にもなっていくと良いのではないかと考えているのですが、今回の幼児美術展の開催状況を見ながら、今後も発展的な部分の検討がなされていく予定なのでしょうか。
- （生涯学習課長）展示スペースに限りがありますので、どこまで広げることが出来るのかということも課題になるかと思いますが、まずは今年度試行的に実施してからの検討となります。
- （委員長）美術教室の開催等も考えられるかと思いますが、今後も状況を見ながら、発展的な検討につなげていただくようお願いいたします。また、平成26年第2回6月議会定例会におい

て小中学校の将来ビジョンに係る一般質問があったとのことで、町にとって大きな問題提起がなされたと感じました。教育委員会として、長期的な視野で検討していく必要があると思いますので、施設の状況や学区毎の子どもの人数変遷がわかるようなデータがあるならば教えていただきたいと思っています。

- （教育次長）資料の用意はございますので、今後ご説明させていただきたいと思います。
- （教育長）学区の再編にあたっては、環境的な要因に併せ、地域等の意見も大事に検討していくことも大切ではないかと考えています。検討に必要な資料については今後お示しさせていただきます。
- （委員長）文部科学省が小中一貫教育を推奨していることも考慮し、地域の実情等も踏まえながら、二宮の子どもたちの教育の方向性を示していく必要があるのではないかと感じていますので、よろしくをお願いします。
- （飯塚委員）小学校2校の運動会、中学校2校の体育祭が行われ、出席させていただきました。学区再編の話にもつながるかと思いますが、それぞれの学校で特色が出ており、地域性のあるものとなっていると感じました。二宮小学校は大勢の保護者さんがいらして賑やかな雰囲気、一色小学校はピクニックに来ているような和やかな雰囲気でした。また、子どもたちも明るい表情ではつらつと競技や演技を行っていて、とても落ち着きを感じる運動会でした。最後まで見るのが出来なかったのですが、4校とも事故なく終了したのでしょうか。
- （教育総務課長）4校とも大きな事故はなく、無事に終了しました。なお、大事には至らなかったのですが、熱中症で気分が悪くなり病院に運ばれた子どもがいたとの報告を受けています。
- （飯塚委員）学校の統廃合や小中一貫教育の話もありますが、子どもたちを育てていくうえでそれぞれの地域との連携は不可欠です。今後の教育は個別の能力に合わせた対応が必要で、どうやってそれぞれの能力を引き出していくかということになってくるのではないかと思います。ヨーロッパ等では教科毎にクラスを変えて授業を行う国もあると聞いています。利便性や子どもの人数等の数字的なものを優先するのではなく、二宮町としてどのような子どもを育てていくのかということに主眼を置いて、計画的に検討していかなければならないのではないかと感じています。また、そちらを示すことが、定住促進にもつながるのではないかと思います。国の方向性が示されないと難しい部分もあるかと思いますが、タイミングを図るうえでは事前準備が大切です。現状だけではなく、目標設定と予測の両方のバランスを見ながら計画を立てていく必要があるのではないかと思います。
- （委員長）確かに、運動会では地域との関わりの大きさを非常に強く感じました。数字だけで判断するのではなく、そのような部分も大切にしながら子どもたちを見つめていくことも重要だと思います。
- （蓮實委員）私も運動会に出席させていただきましたが、2校の地域性の違いを感じました。皆で一生懸命取り組んでいるというのは同じですが、「地域に根差した」というところで微妙に違いがあるのではないかと感じました。中学校の体育祭は、小学校の運動会の行事としての雰囲気とは違い、授業の一環として行われているという感じがし、それも大切なことだと思いました。
- （飯塚委員）今後、学区ということではなく選択制という形も検討していく必要があるのかもしれないと感じています。

- （教育長）学区の自由化については二宮町学校選択制等検討委員会で検討を重ね、地域ぐるみで教育するという風土がしっかりと根付いている二宮町の現状から、学校選択制の導入には慎重にならざるを得ないという結論になりました。ただし、従来の指定校変更の許可基準に中学校における部活動を新たに付け加える等、これまでの通学区域は維持しながら、学校指定の弾力化を図ることとしました。学区再編等を検討するにあたって私たち教育委員は、子どもたちが幸せになるためにはどうしたら良いかということに視点を置いて考えることが大事ではないかと思っています。
- （委員長）子どもたちをどのように育てていくかという骨子を持っているということが大事だと思います。そのような視点で私たちも考えていかなければならないと感じていますので、よろしくをお願いします。
- （山内委員）一色小学校と二宮小学校で放課後子ども教室が実施されたとの報告がありましたが、良い事業だと期待していたので、長い準備期間を経て事業をスタートさせ、これほど多くの子どもたちに参加いただけて良かったと思います。子どもや保護者にとっても嬉しいことだったのではないかと思います。どのような内容・状況だったのか教えてください。
- （生涯学習課長）各校の体育館にて、簡単ペットボトル弓矢の作り方やフラフープ、バドミントン、お絵描き等を行いました。一色小学校の参加者は30名で、適正な人数であったとの印象です。二宮小学校の参加者は50名と多く、賑やかに遊んでいるという雰囲気でした。定員を設けていないので、エリア分けを行い、皆が安全に遊べるように検討する必要性を感じました。
- （山内委員）人数が多いということは皆さんの期待の現れではないかと思いますが、子どもや保護者からご意見等ありましたか。
- （生涯学習課長）皆さん楽しく過ごしていただいたようです。

— 付議事項 —

請願第1号 教科書採択地区についての請願について

（教育総務課長）教科書採択地区についての請願について説明。

- （蓮實委員）二宮・大磯の両町では合同で中郡教育研究会を行っているということも伺っていますし、両町の教科書が同じだから教材の共有や研究が効率よく進められて、最終的に児童・生徒へ還元されているというメリットもあるのではないかと思います。請願に、各教育委員会の希望する教科書の採択が必ずしも実現されないのではないかとありますが、協議会で十分な協議も行っていますし、各教育委員会の権限と責任で採択をしていますので、責任が曖昧になるとは言えないと思います。
- （飯塚委員）前回の中学校の教科書採択に携わった際、現場の先生は日常業務に加えて教科書の調査研究を行っていたというところで、負担が非常に大きいのではないかという印象を受けました。現在の二宮町での教員の配置状況と今後の配置見込みについて教えてください。
- （教育総務課指導班長）現在の教員配置状況ですが、中学校は音楽、美術、技術、家庭科は両校1名ずつの配置です。町内では各教科2名配置されていますが、音楽、美術、家庭科については、2名のうち1名は経験年数が10年未満ということで、教科書の調査研究は負担が大きいと思われるま

す。また、今後の教員の配置見込みについてですが、児童生徒数の変動状況からもクラス数の増加は見込めませんので、今のところ増員の見込みはないという状況です。

- （飯塚委員）教科書採択は大事なことなので、特定の先生に負担がかかるということはある面では仕方ないと思いますが、それが固定化されてしまうというのは、あまり望ましい状況とは言えないのではないかと思います。経験年数についてのお話もありましたので、そちらは気に掛かる場所です。
- （委員長）請願に、教科書の調査研究については、必要により従来どおり他市町と協力して実施する道も残されているとありますが、現在は中地区全体で教科書を配当して調査研究を行っているのですか。
- （教育総務課指導班主幹）現在三市二町が合同で調査研究を行っており、三市からは各教科1名ずつ、二宮町と大磯町からは1つの教科についていずれかの町から1名ずつの計4名の教員により調査研究を行っているという状況です。単独採択地区となった場合、二宮町と大磯町からも各教科1名ずつ選出することとなります。
- （委員長）単独採択地区となった場合、現在大磯町から調査員を選出している教科についても二宮町から選出する必要があり、その分を補わなければならないということで、教員の負担は増える可能性もあるということですね。前回資料をいただきましたが、法律がどのように改正されたのか、改めて教えてください。
- （教育総務課指導班主幹）概要としては、これまで採択地区の設定単位は「市郡」とされていましたが、市町村合併等により地域の実情に合ったものとなっていないのではないかとということで、平成26年4月1日に『義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律』を一部改正し、採択地区の設定単位を「市町村」に改めたというものです。ただし、小さな町村における共同採択の果たす役割を考慮すると必ずしも単独採択とする必要はないとされています。
- （蓮實委員）今までも二宮町と大磯町とは中郡として密接なつながりがありましたが、現状では難しいとしても、環境が整う時期を待って単独採択を検討するというところで、今回は趣旨採択としてはいかがでしょうか。
- （委員長）現在、二宮町と大磯町が共同採択地区となっていますが、そちらの良い点をまとめてください。
- （教育総務課指導班主幹）一番大きな点としては、調査員の選出が二町から行えるので、より経験豊富で教科書研究に適した教員を選出することが出来るということ、また、中郡教育研究会にて合同で研究を行いますので、教材研究が効率よく進められ、それが最終的に児童・生徒へと還元出来る点かと思います。
- （委員長）中郡教育研究会ではどのように教材研究が行われているのですか。
- （教育総務課指導班主幹）年間5回程度、教科毎に教員が集まり、意見交換や実践紹介等を行っています。
- （委員長）共同採択地区として同じ教科書を使用しているのです、共同で授業研究が行えるということですね。逆に、共同採択地区のデメリットはあるのでしょうか。
- （教育総務課指導班主幹）共同で事務局を運営していますので、連絡調整等で負担はあるかと思っています。

- （委員長）単独採択地区となった場合のメリットはありますか。
- （教育総務課指導班主幹）人数が少なくなりますので、場所的に集まりやすくなるということはあるかと思います。
- （委員長）お話しいただいたとおり、共同採択・単独採択の双方にメリット・デメリットがあるように思います。また、現状を考えると、単独採択地区とする難しさもあるように感じています。どのように環境整備が出来るのかということや、共同採択・単独採択におけるメリット・デメリットについて、もう少し整理していく必要があるのではないかと思います。単独採択となった場合に二宮町独自の教科書を選ぶことが出来るというメリットはありますが、一方で教員の負担も考えていかなければならないと思います。今後も研究していくということで、趣旨採択という方向でまとめさせていただいてもよろしいでしょうか。

（委員長）各委員にこの件について諮る。

委員全員一致でこの請願書は趣旨採択とされる。

— 傍聴者退席 —

— 報告・協議事項 —

（１）平成２６年度二宮育英会奨学生の選考結果等について

（教育総務課教育総務班長）平成２６年度二宮育英会奨学生の選考結果等について説明。

非公開

（２）平成２５年度学校給食費会計報告について

（教育総務課教育総務班長）平成２５年度学校給食費会計報告について説明。

- （蓮實委員）昨年度と比較して未納額と繰越金が増加しているようですが、そちらについて説明をお願いします。
- （教育総務課教育総務班長）未納額の増加についてですが、平成２５年度会計を閉鎖した時点では約１６０万円と、昨年度と比較して５０万円程の増加となりました。しかし、２５年度会計の閉鎖後に一部納入され、今日現在では１２０万円程度と、昨年度からの微増という状況です。また、繰越金の増加についてですが、２４年度はなるべく繰越金が少なくなるようにしていました。２５年度は大雪による影響を考慮し、青菜類の単価を高く見込んで献立を組んだのですが、見込みよりも単価が安くなったことにより、繰越金が昨年度と比較して増加したというものです。
- （委員長）現在も１２０万円程未納があるとのことですが、学校現場でも引き続き未納解消に向けた努力は積極的に行っているという状況なのではないでしょうか。

- （教育総務課教育総務班長）はい、保護者面談で未納解消に向けた話をさせていただく等努力をお願いしています。また、学校現場だけでは難しいという場合には、教育委員会の職員も徴収に同行する等協力をしています。
- （委員長）未納の解消にあたっては学校現場だけでは難しいところもあるかと思います。教育委員会の協力があると学校現場としても助かるかと思うので、よろしくをお願いします。

（3）二宮町体育祭プログラム広告掲載要領の制定について

（生涯学習課長）二宮町体育祭プログラム広告掲載要領の制定について説明。

- （委員長）希望者多数の場合はどのようになるのでしょうか。
- （生涯学習課長）二宮町に事業所を有するもの、公共性の高い事業を行うものを優先しますが、同順位で複数の申込みがあった場合は抽選となります。
- （蓮實委員）体育祭プログラムへの広告掲載は昨年度から行われていましたでしょうか。
- （生涯学習課長）はい、昨年度から広告を掲載しており、今年度要領を定めたものです。
- （蓮實委員）要領を定めて行ったほうが良いことだと思いますので、早期の対応となり良かったかと思います。公表の日から施行するとありますが、そちらはいつになりますか。
- （生涯学習課長）平成26年6月25日となります。

（4）その他

（教育総務課教育総務班長）学びづくり通信の発行について報告。

— 次回教育委員会予定 —

（教育総務課教育総務班長）次回教育委員会議の日程及び出席を要する主な行事について説明。

— 閉会宣言 —

（委員長）平成26年度6月定例教育委員会議を終了いたします。

12時00分 終了